

【開催報告】生物工学若手研究者の集い(若手会)夏のオンラインセミナー2021

2021年7月17日(土)に、生物工学若手研究者の集い(若手会)主催で夏のオンラインセミナー2021を開催いたしました。本セミナーは、新型コロナウイルス感染症の影響で一旦中止となりました若手夏のセミナーin石川に代えて企画し、Zoomを使用したオンライン形式で実施いたしました。若手会では昨年度もオンラインセミナーを全3回開催しましたが、今回は過去最多の161名の方にご参加いただきました。参加者の内訳は、アカデミア43名、学生101名、企業16名、公的研究機関から1名でした。

今回は新たな試みとして3名の外部講師による招待講演が行われました。アグレッシブな研究のご紹介やキャリアパスなど多彩な内容でご講演いただきました。

【招待講演①】(座長:蟹江)

「ソフトマテリアルの自己組織化による材料創製－研究も人生もフレキシブルに－」
鳴瀧 彩絵 先生 (名古屋大学大学院工学研究科)



【招待講演②】(座長:児島)

「微生物機能のフル活用に向けたシングルセル解析技術の開発と応用」
竹山 春子 先生 (早稲田大学理工学術院)



【招待講演③】(座長:徳山)

「分子複製システムを進化させて原始生命進化を理解する」

水内 良 先生 (東京大学先進科学研究機構)



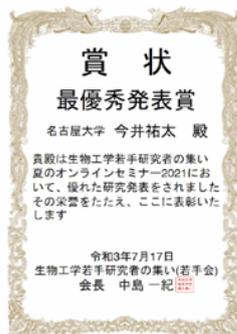
今回も昨年度と同様に、口頭発表での一般講演が行われました。今回は76件と非常に多くの研究発表があり、5会場に分かれての実施となりました。質疑応答ではチャットツールSlackを使用し、大変活発な議論が行われました。また、参加者の皆様から心に響いた発表を選んで投票してもらい、最優秀発表賞および優秀発表賞を授与いたしました(表彰状は後日、受賞者へ郵送される予定です)。

最優秀発表賞

名古屋大学大学院 今井祐太

「培養細胞メンテナンス技術としての細胞画像定量解析の重要」

The importance of quantitative cell image analysis as a maintenance technique for cultured cells

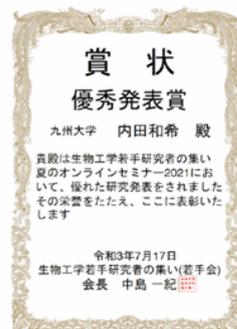


優秀発表賞

九州大学大学院 内田 和希

「脂質二分子膜上のドメイン構造選択的なタンパク質局在化」

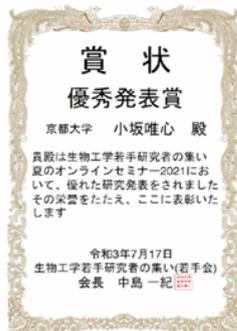
Domain Structure Selective Protein Localization on Lipid Bilayers



京都大学大学院 小坂 唯心

「シングル人工リボソームの翻訳活性を検出可能な系の構築」

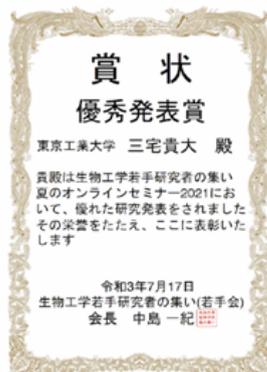
Detection of translation activity of single artificial ribosomes



東京工業大学 三宅 貴大

「サイズの異なる脂質膜被覆粒子による生体膜曲率を認識する大腸菌由来タンパク質の探索」

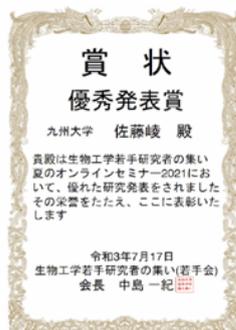
Proteomic exploration of membrane curvature sensors from *Escherichia coli* using a series of SiO₂ supported lipid



九州大学大学院 佐藤 峻

「架橋酵素反応による末端機能化タンパク質集合体の調製」

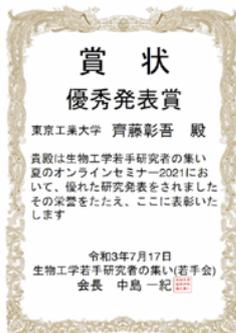
Preparation of end-functionalized protein assemblies by enzymatic crosslinks



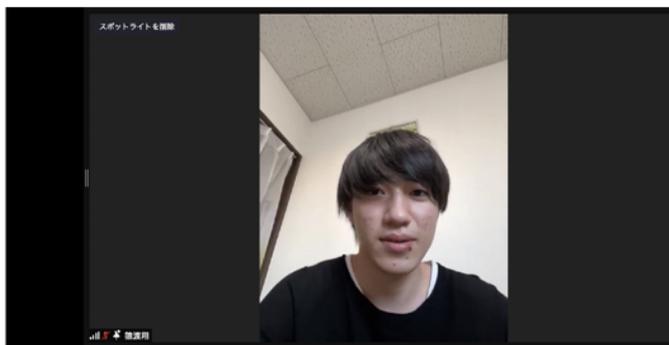
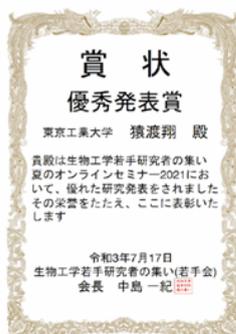
東京工業大学 齊藤 彰吾

「細胞外小胞「ミグラソーム」を捕捉するペプチド界面の構築」

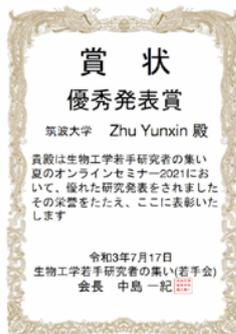
Construction of peptide interface for capturing migrasome



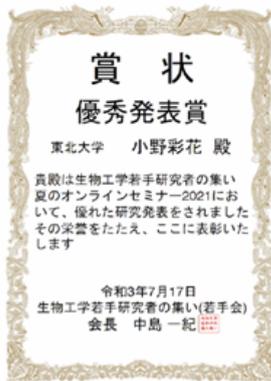
東京工業大学 猿渡 翔
「スカトール結合性ペプチドの探索とセンサ応答」
Skatole binding peptide search and sensor response



筑波大学大学院 Zhu Yunxin
Efficient biomethane recovery from ammonium-rich feedstock via optimized light-assisted bioprocess



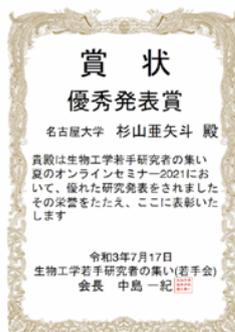
東北大学大学院 小野 彩花
「稲わらの糖化性向上遺伝子の探索」
A search for genes that enhance saccharification yields from rice straws



名古屋大学大学院 杉山 亜矢斗

「ペプチド・高分子ハイブリッド型再生促進材料開発に向けた基盤技術開発」

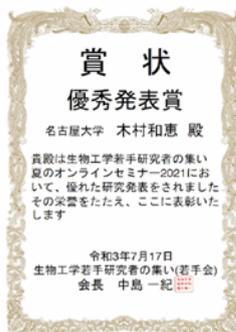
Platform development for peptide-polymer hybrid regeneration enhancing material



名古屋大学大学院 木村 和恵

「TAQingシステムを用いた細胞の品質多様化技術の基盤開発」

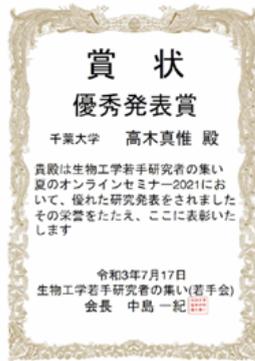
Platform technology using TAQing system for cell quality expansion



千葉大学大学院 高木 真惟

「多孔性基材を組み込んだ微小流路を用いる肝細胞のかん流培養系」

Perfusion Culture System for Hepatocytes Using Microchannel-Integrated Porous Substrate



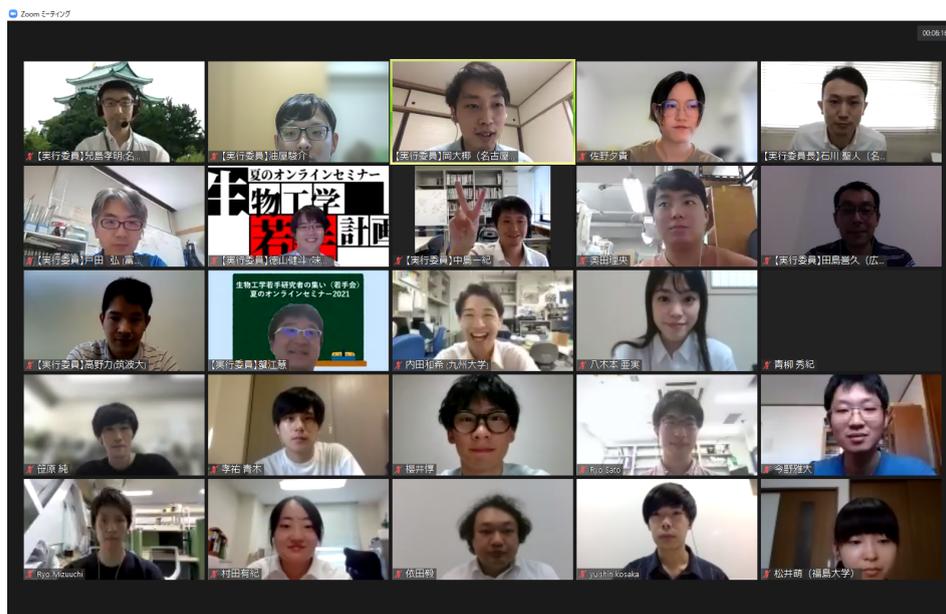
さらに今回は例年オンサイトで開催している夏のセミナーの雰囲気をも少しでも再現できるように、フラッシュトークを設けました。学生の皆様には事前にスライドを1枚作っていただき、30秒の持ち時間で一人ずつ自己紹介をしていただきました。また、参加者の投稿したコメントがリアルタイムでディスプレイに表示されるアプリを利用することで聴衆のリアクションを共有でき、大いに盛り上がりました。

セミナー終了後のオンライン懇親会には、約55名の方が参加されました。今回の懇親会では参加者の皆様の交流が促進できるよう、参加者を4～5名程度のグループにランダムに振り分け、ルーレットトークやクイズ大会を実施しました。またバーチャルスペースを利用したフリートークも行い、オンラインでは難しい流動的なコミュニケーションが促進できたように思います。

セミナー後に実施したアンケートでは、参加者からは概ね良好な反応でした。アンケート結果を踏まえ、指摘いただいた改善点などは今後のセミナー企画に反映したいと考えています。

最後に、ご多忙の中、講演をお引き受けくださいました講師の先生方、そして参加者の皆様に心より御礼申し上げます。本セミナーをきっかけに、皆様の交流の輪がさらに広がることを祈念しております。新型コロナウイルス感染症の今後の状況次第ではありますが、若手会では来年度以降もオンラインまたはオンサイト形式のセミナーを企画し、若手研究者間の奨励・交流を促進できるよう活動していきます。

セミナー終了後の集合写真(一部)



報告:横田早希(秋田大)、三浦 夏子(阪府大)

生物工学若手研究者の集い 夏のオンラインセミナー2021 実行委員(五十音順)

青木 航(京大・助教:講演係/要旨係補佐)
油屋 駿介(九大・学振特別研究員:懇親会係)
石川 聖人(名大・助教:実行委員長/技術係補佐)
岡 大椰(名大・D3)
岡橋 伸幸(阪大・准教授:表彰係)
蟹江 慧(名大・助教:会計係)
兒島 孝明(名大・講師:講演係)
佐藤 康史(旭川医大・助教:表彰係補佐)
杉山 亜矢斗(名大・D1:懇親会係補佐)
曾宮 正晴(阪大・助教)
高野 力(筑波大・D3:懇親会係補佐)
田島 誉久(広島大・准教授:要旨係)
田中 祐圭(東工大・助教:技術係)
徳山 健斗(味の素株式会社:当日運営係)
戸田 弘(富山県立大・講師:要旨係)
中島 一紀(北大・准教授:若手会会長/要旨係補佐)

中谷 航太(九大・学術研究員:懇親会係)

馬場 保徳(石川県立大・講師)

堀之内 貴明(理研・研究員:講演係)

三浦 夏子(阪府大・助教:広報係)

横田 早希(秋田大・助教:広報係補佐)